

5 令和2年度事業のまとめ

5－1	令和2年度教育行政の基本方針と重点施策・・・・・・・・・・	38
5－2	令和2年度中央公民館の目標と主な施策・・・・・・・・・・	40
5－3	令和2年度春日部市公民館運営審議会の記録・・・・・・・・・・	42
5－4	令和2年度公民館の概要・事業報告	
	中 央 公 民 館・・・・・・・・・・	43
	粕壁地区公民館・粕壁南公民館・・・・・・・・	65
	内牧地区公民館・内牧南公民館・・・・・・・・	85
	豊春地区公民館・豊春第二公民館・・・・・・・・	109
	武里地区公民館・武里東公民館・・・・・・・・	137
	幸松地区公民館・幸松第二公民館・・・・・・・・	157
	豊野地区公民館・藤塚公民館・・・・・・・・	175
	武里南地区公民館・武里大枝公民館・・・・・・・・	193
	庄和地区公民館・庄和南公民館・・・・・・・・	207
	市民センター(武里・庄和)・・・・・・・・	231

5－1 令和2年度教育行政の基本方針と重点施策

基本方針

本市は、平成30年に策定した「第2次春日部市総合振興計画前期基本計画」に基づき、市の将来像である「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を実現するための事業を推進しているところである。

教育委員会においては、第2次春日部市総合振興計画前期基本計画における2つの基本目標「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」及び、「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」を実現するため、必要な施策を総合的かつ横断的に推進するものである。

ところで、国際社会に目を向けると、平成27年9月に国連サミットにおいて「持続可能な開発目標」、いわゆるSDGsが全会一致で採択されている。持続可能な開発目標（以下SDGs）には、令和12年を期限とする包括的な17のゴールと細分化した169のターゲットが設定されており、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むこととしている。これを受け、本市においても令和元年9月に「春日部市SDGs推進方針」を策定し、SDGsは本市の将来像である第2次春日部市総合振興計画による取組と方向や立場を同じくするものであることを確認している。教育委員会においても同様に、SDGsの視点を含めながら、必要な施策を推進していくものである。

学校教育では、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するために、児童生徒一人ひとりの個性を生かす教育を推進する。そのために、基礎学力の定着及び向上や豊かな心の育成、心身の健康づくりの推進に向け、教職員の資質向上や教育環境の充実を図る。

社会教育では、地域社会の発展を目指し、社会状況の変化に対応した学習機会の提供、学習活動の支援と学習環境の充実に努める。また、青少年の健全育成の活動を促進するとともに、家庭、地域の連帯感の醸成に取り組み、家庭と地域の教育力の向上を図る。さらに、文化・芸術活動の振興を図るとともに、文化遺産の保護・保存、市の歴史・伝統に関する資料の収集・保存を進め、地域の伝統文化の育成や継承、情報発信に努める。

生涯学習では、市民の活動が広範多岐に及ぶことから、教育領域のみならず、全庁的に取り組むとともに、民間の活動等との連携を図るなど、第2次春日部市生涯学習推進計画に基づく多様な振興施策を推進する。

スポーツ・レクリエーションでは、だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに参加できる機会の提供、活動を支援する体制づくりを推進する。

重点施策

1 学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」など、未来を切り拓くことのできる「生きる力」を一層確実に育成することをねらいとした学校教育を充実させる。そのために、教職員の資質向上等による教育内容の充実や安心・安全な教育環境づくり、地域と連携した特色ある教育活動の推進を通して、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進する。さらに、本市独自の学校教育プランである「かすかべっ子 はぐくみプラン」の取組を一層推進し、児童生徒一人ひとりのよさを伸ばす指導を行う。

また、春日部市いじめ防止条例及び春日部市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止や

早期発見、いじめへの対処を組織的・計画的かつ迅速に行う。

2 学校施設の整備・充実

学校施設は、昭和40年代から50年代にかけて建設されたものが多く、トイレについては、建設当時に主流であった和便器が中心となっているが、現在の家庭での設備環境及び社会的な生活様式を考慮し、児童生徒の学校環境の改善を図るため、体育館トイレ改修事業及び校舎トイレ改修事業を推進する。

また、近年、夏の猛暑となる日が増加している中、児童生徒の健康面への配慮や、学習環境の改善を図るため、特別教室エアコン整備事業を推進する。

3 青少年教育の充実

青少年活動の充実を促進するとともに、関係機関・団体との連携の強化や、青少年団体の活動の支援、思いやりと創造性豊かな青少年を育む地域社会づくりを推進する。

また、学習機会や情報を提供し、家庭教育の支援体制を充実させ、家庭と地域の教育力の向上に努めていく。さらに、義務教育学校を含む全小学校区で「放課後子ども教室」を実施し、地域の方々の協力を得て様々な体験活動や交流活動を行い、子どもたちの心豊かな育みと地域の教育力の向上を図る。

4 社会教育の充実

市民一人ひとりが学んだ力を地域の中で生かせる生涯学習社会の構築を進めるため、学習課題に対応した多様な学習機会の提供、学校教育等との連携拡充、市民との協働の推進、社会教育関係団体の支援、社会教育関連施設の整備充実を図るなど、社会教育の充実に努める。

5 文化・芸術の振興

文化・芸術に触れる機会の充実を図るとともに、文化・芸術団体の育成及び活動支援や情報提供の充実に努める。

また、地域の伝統芸能をはじめとした文化の継承者の育成を図るとともに、文化財の保護・保存や市史による郷土の特徴ある歴史の紹介など、地域の文化遺産の継承に努める。さらに、文化・芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館については、利用者への助言や広報の支援などの利用者サービスの充実を図るとともに会館施設設備等の維持補修を行う。

6 スポーツ・レクリエーションの推進

スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくるために、多様なレベルで楽しむことができるスポーツ・レクリエーションを普及することにより、市民の交流機会の拡大を推進する。

また、春日部市体育施設整備基本計画に基づき体育施設の維持管理及び総合体育館（ウイング・ハット春日部）周辺の段階的整備の推進に努め、さまざまなスポーツイベントなどの創意工夫による開催を奨励する。

7 人権教育・啓発の推進

すべての人の人権が尊重され、人々が平和で豊かな生活を営む社会を実現するため、同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的指向や性同一性障がい者、ホームレスなど、あらゆる人権問題の解消に向けて、教育・啓発活動を行い、人権尊重意識の高揚を図る。

5-2 令和2年度中央公民館の目標と主な施策

1 目標

公民館は、市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進、情操を養うことを図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

公民館の持つ基本的役割である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」を果たすために、春日部市内各地域の歴史や特徴を踏まえつつ、住民の連携、学習活動の推進を図り、地域文化の創造と、人々のふれあいによる地域社会の醸成、自治意識の向上を目指す。そのため、学習内容の充実を図り、市民の多様な学習要求に応えていくとともに、市民との連携を図る事業を実施する。

また、中央公民館と地区公民館との連携により、効率的かつ効果的な事業を遂行していく。

《中央公民館の役割》

地区公民館の統括と連絡調整を行い、その事業は市全域を対象とした広域的なものとし、細分化された学習要求にも応えるものとする。また、試験的な事業や運営についての研究を行う。さらに地区公民館と協力しながら公民館全体の事業効果の向上を図るものとする。

《地区公民館の役割》

それぞれの地域を主な対象とし、地域住民の身近な学習要求に応え、地域の特色を生かし、地域に根ざした事業を展開することによって、地域文化の向上と地域住民の交流及び学習意欲の醸成を図る。また、中央公民館と各地区公民館及び各地区公民館同士が連携・協力を図り、活力ある地域づくりを目指すこととする。

2 主な施策

(1) 中央公民館体制の整備

市民の多様化・高度化する学習要求に応えるため、中央公民館と各地区公民館及び各地区公民館同士が協力・連携し、さまざまな課題に対して迅速に対応できる体制の整備を図る。

市民の主体的な学習活動を支援するため、学習情報を受信・発信する拠点としての機能を充実する。

各地域においては、それぞれの地域文化を尊重し、地域の状況に即した公民館の運営を図る。

(2) 市民の学習活動の支援・促進

①市民の自主的な学習活動を支援・促進するため、フリースペースの活用、学習情報の

収集・提供、学習相談などを強化・推進する。

- ②クラブ・サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る。
- ③現代的課題に即した学習活動を支援・促進するため、関係各機関との情報交換や連携体制の充実を図る。
- ④インターネットを活用した情報化の充実を図り、公民館からの情報発信を魅力あるものとする。

(3) 学習機会の充実

- ①市民の学習要求、また生涯各期の学習課題に応じた多種多様な学級・講座・イベントなどを実施し、学習機会の充実を図る。
- ②市民の学習要求を反映した事業を実施するため、事業の企画段階からの市民参加を促進する。また、指導者やボランティアを発掘・育成し、さまざまな事業に地域の人材を活用した学習機会を創造する。
- ③家庭教育に関する学習や交流の機会を拡充するとともに、各種団体との協力のもと、家庭・地域の教育力の向上、世代間の交流が図れる事業を展開する。
- ④学習活動で得た知識、成果を地域で生かすとともに、適切に評価される仕組みづくりを調査研究する。

(4) 公民館施設の整備充実

公民館事業の円滑な遂行並びに市民が安全に学習・交流活動をおこなえるよう、施設の整備及び維持管理に努める。

5-3 令和2年度春日部市公民館運営審議会の記録

春日部市公民館運営審議会（任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日）

窪 田 忍（学校教育関係者）
 小 林 修（学校教育関係者）（任期：令和2年5月26日～）
 石 原 弥 生（社会教育関係者）
 今 村 純 雄（社会教育関係者）
 井 上 みち子（社会教育関係者）
 横 山 由 美（社会教育関係者）
 小 林 久美恵（家庭教育関係者）
 梅 田 正 雄（知識及び経験を有する者）
 森 義 久（知識及び経験を有する者）
 関 根 金次郎（知識及び経験を有する者）
 金 重 一 夫（知識及び経験を有する者）
 高 崎 光 英（知識及び経験を有する者）（任期：令和2年5月26日～）
 越 沼 正 一（知識及び経験を有する者）
 原 宏 一（知識及び経験を有する者）
 泰 楽 富 夫（知識及び経験を有する者）

回	期 日	審 議 内 容	出 席 者
1	令和2年 7月3日 (金曜日) 午前10時00分 ～ 午前11時00分	議事録署名人の選任について 新型コロナウイルス感染防止対策の状況について 令和元年度春日部市公民館事業報告について 令和2年度春日部市公民館事業計画について	委員 13人
2	会議中止 資料送付送付	議事録署名人の選任について 令和2年度前期事業報告について 令和2年度後期実施事業計画について 令和3年度事業計画（案）について	新型コロナウイルス感 染防止のため、書面によ る意見聴取を行った
3	令和3年 3月26日 (金曜日) 午前10時00分 ～ 午前11時15分	議事録署名人の選任について 令和2年度後期事業報告について 令和3年度事業計画（案）について 各地区公民館利用者からのご意見・ご要望について	委員 12人

5-4 令和2年度公民館の概要・事業報告

中央公民館

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

- 1 各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇重点事業

- 1 文化推進事業
- 2 学習支援事業
- 3 教養講座

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6 9 1 8 番地 1

TEL 048-752-3080

FAX 048-754-0158

E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp



職 員	館 長	須 藤 俊 英
	〈管理担当〉	
	主 幹	川 口 英 典
	主 査	染 谷 正



主任（再任用） 眞 田 健 治
 主任（再任用） 関 根 敦 夫
 主 事 伊 東 克 樹
 フルタイム 三 橋 美 穂

<事業担当>

担当課長 城 田 徹（社会教育主事）
 主 幹（兼務） 佐 藤 真 彦
 主 査（兼務） 石 原 一 男
 主 事（兼務） 依 田 理紗子
 フルタイム（兼務） 原 昌 美

（環境整備・情報提供・会議・研修・支援事業など）

No.	事業名	対象館	内 容
1	公民館施設・設備の整備（主なもの） ※簡単な修繕については、各地区公民館の職員で編成する修繕班で対応している。	中央公民館	・非常用照明器具交換修繕 ・消防設備修繕 ・1階ホール外LED照明への交換修繕 ・雨水槽排水ポンプ交換修繕 ・女子トイレ洋式便器交換修繕 ・舞台照明操作卓修繕
		内牧地区公民館	・男女トイレ洋式便器交換修繕 ・講堂・調整室他雨漏り修繕
		内牧南公民館	・講習室西側雨漏り修繕
		豊春地区公民館	・屋根雨漏り修繕及び軒樋修繕 ・加圧給水装置分解整備、受水槽ドレン配管修繕
		豊春第二公民館	・舞台幕修繕
		武里地区公民館	・グラウンド階段の段差解消等修繕
		武里東公民館	・講習室雨漏り修繕
		幸松地区公民館	・非常用放送設備の交換修繕 ・非常用発電機交換修繕
		豊野地区公民館	・ドアクローザー交換修繕 ・1階和室空調機交換修繕
		藤塚公民館	・屋上防水修繕
		武里南地区公民館	・1階電灯盤整線及び漏電修繕 ・1階トイレブース修繕
		武里大枝公民館	・講堂ドア鍵交換修繕
		庄和市民センター（正風館）	・非常用照明器具交換修繕 ・2階子供室トイレ漏水修繕
		庄和南公民館	・学習室、多目的室外雨漏り修繕 ・駐車場外灯修繕 ・浄化槽チェッカープレート枠取替修繕

No.	事業名	内 容
2	公民館学習情報 提供事業	地区公民館と中央公民館、また、地区公民館同士の連携調整を図り、公民館だより、月間事業予定、利用サークル、講師人材情報、教材・機材情報などの各種学習情報提供を効果的に行う。
3	公民館関係団体支援	学習相談、団体運営相談・指導・援助、各種情報提供、団体間交流促進など。
4	公民館関係資料調査 及び収集	学習情報の提供に資するための、各種資料の収集・整理を行う。社会教育課及び視聴覚センターと連携。
5	ホームページ等の作成	教育委員会ホームページ上でのブログの作成、春日部市ホームページ上の情報の更新など

No.	事業名	発行日	発行部数	名 称	内 容
6	各種公民館関係資料の作成・発行	7 / 1	1 2 0 部 ホームページ掲載	令和2年度 春日部市の公民館 (令和元年度事業計画・令和元年度事業のまとめ)	事業計画・事業報告・利用状況など
		6 / 1	2 部 ×16 館 ホームページ掲載	令和2年度 春日部市公民館利用団体一覧	活動内容・公民館別 閲覧用・職員 内部資料用
		平成7年度	2000 部	春日部市民戦争体験記「語り継ぐ平和への想い」の頒布	中央公民館で6冊頒布

No.	事業名	期 日	回数	対象・人員	内容 (テーマ)	特 記
7	新任職員研修会	4/ 9・10	2	新任職員	公民館について・予約システムについて・予算執行について	
8	公民館長会議	月1回	1 2	公民館長	公民館運営に関する情報交換、研究協議、連絡調整	
9	公民館職員会議	月1回	1 2	関係職員	情報交換・実務研修 ・貸館基準、著作権 ・実践事例報告 ・情報の共有化 ・フェスティバル 企画 など	運営委員会 設置
10	各種プロジェクト	随時		担当職員	・公民館検討委員会	検討委員会委員
					・公民館合同フェスティバルの検討	職員会議プロジェクト企画担当

11	修繕班	随時		担当職員	各公民館の軽易な修繕作業	
----	-----	----	--	------	--------------	--

No.	事業名	期日	対象・人員	内 容 (テーマ)	特 記
12	担当者専門研修会派遣	8/6	職員 1 名	令和 2 年度埼玉県公民館連絡協議会第 2 回理事会	行田市
		10/20～ 10/23	職員 1 名	令和 2 年度公民館職員専門講座	東京都 台東区
		11/16・ 11/17	職員 1 名	第 2 0 回埼葛郡市人権施策推進協議会実務研修会	宮代町
		11/20	職員 4 名	令和 2 年度埼葛地区公民館連絡協議会視察研修会	さいたま市
		12/4	職員 1 名	令和 2 年度埼玉県公民館連絡協議会第 3 回理事会	行田市
		3/12	職員 1 名	令和 2 年度埼玉県公民館連絡協議会第 4 回理事会	行田市

事業名 テーマ	秋の音楽鑑賞会 高橋朋子と仲間たちのリサイタル		対 象	一般		定員	175	
ね ら い	質の高い芸術作品に触れる機会を提供し文化意識の向上に資する。春日部ゆかりの演奏家を招いての演奏会とし、地元での活動推進と、郷土意識の高揚をめざす。							
協力機関 及び団体	春日部市民劇団かざぐるま		特 色 位置づけ	春日部ゆかりのメンバーによる演奏		SDGs の目 標No	4. 11	
会 場	中央公民館 講堂 控室 大会議室・中会議室・和室		教 材 資 料 等	プログラム				
実施までの経過	6月 出演者交渉 7月 1日(水) 打ち合わせ 7月19日(日) 広報原稿締切 8月1日(土) 公民館だより8月号 9月1日(火) 広報かすかべ9月号 ポスター掲示・チラシ配布 9月19日(土) 整理券配布開始 10月18日(日) 前日準備、リハーサル		P R 方法	公民館だより8月号 ポスター掲示 広報かすかべ9月号				
			受付方法	9月15日(土)から、各公民館整理券(計170枚)配布 当日は整理券を持った人から先着順に入場				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計		
10月18日(日)	14：00～16：00	 第1部 「あなたに会えて」「いのちのうた」等、生きることをテーマにした曲を披露 第2部 「アメリカホームソング～フォスター名曲集～」 「組曲『いつの日か』～童謡の素晴らしさ～」 等、誰もが楽しめるメドレーを披露。	鑑賞 出演	53	108 4	161 4	代表 高橋 朋子 小松 由歩 成田 叶 縄田 弥生	
			協力					春日部市民劇団 かざぐるま
1回	2時間			53	112	165		
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス対策のため入場票での来場者の把握、検温、手消毒アルコールの徹底をはかった。 ・入場の際、整列の間隔が密にならないよう気を付けた。 ・ビニールカーテンの設置、またフルート奏者とほかの演奏者との間にビニールでの仕切りを設けるなど飛沫対策も行った。 ・事前にピアノの調整を行った。 ・照明を劇団かざぐるまに依頼した。 ・地元在住の歌手であることを強調し、郷土意識の向上を促した。 ・「公民館」事業であることを出演者に理解していただき、聴衆者にも伝えてもらうようお願いした。							
成 果 参加者の声など	・高橋先生の変わらぬすばらしい歌声に再度感動致しました！！ ・非常に楽しく聴かせて頂きました。ありがとうございました。 ・素晴らしい。とても感激です。 ・いつも素晴らしい声で大感激しました。ソプラノの歌を地元で聞けるなんて最高！！							
課題と展望	・春日部にゆかりの有る出演者を探すための情報収集が必要。 ・今回、開催P Rは、出演者側からのバックアップもあり、入場者数の増加にも貢献したと考える。今後も出演者側からもファン等へP Rしてもらうという方法も積極的をお願いしていきたい。							

事業名 テーマ	第29回春日部市民県展入選作品展		対象	一般		定員	定めず
ねらい	ギャラリースペースを活用し、市民の美術への関心と理解を高めるため、優れた作品を鑑賞する機会を提供する。第70回県展の市内の入選者・入賞者等の作品を展示することで、市民の市への愛着を深め、さらに出品者相互の交流を図る機会となることも目的とする。						
協力機関 及び団体	春日部市民県展入選作品展実行委員会		特色 位置づけ	ギャラリーを使用した美術展 実行委員会による運営		SDGs の目標No	4.11
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等	第70回県展入選・入賞等の作品 作品目録			
実施までの経過	2月	埼玉県より、令和2年度に予定した第70回県展を令和3年度に延期する旨の連絡を受ける。 前年度の春日部市民県展入選者作品展実行委員会メンバーに電話連絡。	PR方法 (予定)	広報かすかべ6月号 各地区公民館だより6月号 ポスター・案内ハガキ・ホームページ 安心・安全メール、ツイッター ミニコミ紙・記者クラブ配布			
			受付方法 (予定)	当日会場で直接受付 入場無料			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
6月30日(火) ～ 7月5日(日) を予定		前提となる「埼玉県美術 展覧会(県展)」が中止と なったため、併せて中止 とした。	展示	計	計	合計	出品者は第70回県 展入選者・入賞者 等のうち、春日部市 民の方
全7日間	49時間00分			0	0	0	
企画運営上の工夫	毎回、会場入り口で配布していたラベンダーの花束は、事務室カウンターにて一般利用者に配付した。						
成果 参加者の声など							
課題と展望							

事業名 テーマ	自然観察会 (①植物 ②星空 ③野鳥)		対象	①③子ども～一般 ②小学3年～中学生		定員	①30名 ②20名 ③50名	
ねらい	植物、星空、野鳥の観察をととして自然の大切さを学び、環境について考える。							
協力機関 及び団体	①③ 埼玉県生態系保護協会春日部支部		特色 位置づけ	①③土曜日開催 ②小学生は保護者同伴		SDGs の目 標No	4.11.15	
会場	①内牧公園周辺 ②中央公民館大会議室・屋上 ③古利根公園橋周辺		教材 資料等	①春日部市の自然環境 ②レジュメ、星座早見盤、プロジェクター、天体望遠鏡 ①③写真				
実施までの経過	①11月15日講師折衝 2月1日公民館だより3月1日広報かすかべ 3月10日受付開始 ②5月19日指導者交渉 6月1日公民館だより 7月1日広報かすかべ ③10月1日講師折衝 12月1日公民館だより 1月1日広報かすかべ 1月5日受付開始		PR方法	広報かすかべ 3・7・1月号 公民館だより 2・6・12月号				
			受付方法	各受付開始日より、①③直接または電話、②電話で申し込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月4日(土)	9:30～12:00	内牧公園内周辺の植物観察	観察	10	12	22	埼玉県生態系保護協会春日部支部の方々	
7月31日(金)	18:00～20:00	中央公民館での星空観察会	講義 鑑賞	3 (保護者含む)	9	12		
1月25日(土)	9:30～11:30	古利根公園橋周辺の野鳥観察	観察	20	18	38		
3回	6時間30分			33	39	72		
企画運営上の工夫	①この時期に観察できる植物のリストを配布し、観察に役立ててもらった。 ②宇宙展と同時開催で夏の夜空を観察し宇宙や天体について関心と理解を深めた。 ③子供から一般まで、より多くの人に参加してもらうため、土曜日に開催する。							
成果参加者の声など	①観察会の直前に内牧公園を下見をして、参加者に色々季節的にどんな種類の植物があるのか事前に観察できた事により資料作りも役立ち参加者に喜ばれた。 ②星や星座の事が良くわかりました。 ③参加者からは、「とても楽しかった」「また参加したい」等の声が聞かれ大変好評であった。							
課題と展望	①毎回生態系保護協会に講師をお願いしており、マンネリ化も懸念されるが、参加者のほとんどが初めての参加であった。 ②夜間の為、灯光器などを多用し、足元や周囲の安全に十分配慮したうえで、スムーズに誘導、観察をする事ができた。 ③右岸側の八幡橋から公園橋までは歩道が整備されており、安全に鳥を観察できる環境だったので、参加者の満足度も高かった。							

事業名 テーマ	かすかべライブフェスタ2020		対象	出演バンド：市 内で活動してい るバンド		定員	4組
ねらい	市内で活動しているバンドに活動成果を発表する場を提供するとともに、バン ド間の相互交流の場を設けることにより、市民の芸術、文化活動の発展に寄与 する。						
協力機関 及び団体	【音響協力】P Aサークルプラグ ド、音響操作セミナー参加スタッフ		特色 位置づ け			SDGs の目 標No	4.11
会場	中央公民館 講堂		教材 資料	プログラム			
実施ま での経 過	8月1日(土)	広報かすかべ8月号発行	P R 方法	広報かすかべ8月号、公民館だよ り8月号、ポスター			
	8月1日(土)	公民館だより8月号発行					
	8月9日(日)	出演バンド受付開始	受付方法	出演バンド：8月9日(日) から 中央公民館窓口に参加申込書・ プランニングリストを提出。			
	8月29日(土)	実行委員会開催					
	9月12日(土)	前日準備					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名	
				男	女	合計	氏 名
回 数	総時間数	合計	合計				
9月13日(日)	9:00～12:00	リハーサル	鑑賞	59	43	102	【出演順】 Weed-X シャーキーズ Fish&Chips ティンカーベル 出演団体全員(フイー
	12:30	開場					
	13:00	開演					
	15:30	終演					
	15:30～16:00	後片付け					
	16:00～16:30	反省会					
1回	7時間30分			59	43	102	
企画運営 上の工夫	・出演バンドで実行委員会を組織し、当日の進行等についての協議、前日準備 への協力、当日の照明操作等を各バンドに行ってもらおうことで、バンド同士が より深く関わられるようにした。 ・司会進行を工夫し(バンド間のMC等)、よりおもしろみが増すようなライ ブ内容とした。 ・新型コロナウイルスの感染対策として、①入場票による来場者の把握 ②ビ ニールカーテンによる飛沫対策をおこなった。ビニールカーテンは清潔に保つ ため、度々アルコール消毒をするなど気をつけた。						
成 果 参加者の 声など	・来場者アンケートでは、内容について「みなさん楽しそうで自分も楽しめ た」「アットホーム感があって良かった」など、昭和歌謡からロックまで音楽の ジャンルが多彩で好みが見られるところだが、満足度は高い感想であった。 ・コロナ禍にライブイベントができたこと自体がうれしいとの声が多かった。 定員も半分の175人とし、席も事前に間引いていたため、安心して鑑賞できた との声もあった。						
課題と展望	・幅広い世代による多彩なジャンルのライブ構成となり、来場者の年代も 様々。会場を飽きさせなかった。また、出演者は音楽活動を通じて世代間の交 流が図れていた。 ・以前より出演団体数を増やしてほしいとの要望もあるが、今回は1団体で30分 の発表時間がありバランスよく時間も調整が図れた。 ・ステージ上の密を避けるのが難しいと感じた。出演者側の参加人数を少なく する等の工夫が必要だと思った。						

事業名 テーマ	音響操作セミナー		対象	青少年～成人		定員	10人
ねらい	中央公民館の機材を使い、音響操作を行うことで、参加者に音響の知識を深めてもらうとともに、操作を体験することで、参加者が自主的に音響操作を行ってみたいと関心を持ってもらうことを目的としている。また、今後の公民館主催事業などで、ボランティアとして、音響操作の協力を仰ぐことも目的としている。						
協力機関 及び団体	P Aサークルプラグド		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4. 11
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等				
実施までの 経過	4～5月 講師折衝 8月1日(土) 公民館だより 8月号発行 8月1日(土) 受付開始 8月1日(土) 広報かすかべ8月号発行		PR方法	公民館だより8月号、広報かすかべ8月号			
			受付方法	8月1日（土）から直接または電話で中央公民館に申し込み			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				合計	合計		
9月12日(土)	9:00～17:00	1 日目 音響機器について(講義) 音響機器について(実技) 音響機器のセッティング ライブリハーサル1日目 2 日目 ライブリハーサル2日目 本番前打ち合わせ 本番 片付け・反省会	講義 実技	4	1	5	P Aサークルプラグド 中村 純子 
9月13日(日)	9 : 00～17 : 00			3	1	4	
2回	16時間00分			7	2	9	
企画運営 上の工夫				・セミナー参加者に「かすかべライブフェスタ2020」の音響スタッフとして参加してもらい、実践を通して理解が深まるようにした。 ・ライブ出演者と共にイベントを成功させるという共通の目標により、出演者とスタッフとの相互の交流を図った。			
成 果 参加者の 声など		・ライブ当日は、参加者がそれぞれ舞台とオペレーションルームに分かれ、音響機器のセッティングや照明操作を学んだ。 ・マイク、ミキサーの基本的な知識、実践ができて良かったです。					
課題と展望		・毎年同時期で先に開催している豊春第二公民館のPAセミナー受講者が、その続きとして参加してくれている方が多いので、両館で連携があると良いと感じた。 ・参加人数が今回は5名だった。来年度以降に音響に興味のある人など、広報等で周知したい。					



事業名 テーマ	第6回 春日部市 障がい者作品展 (共に生きよう！フェスティバル)		対象	成人一般	定員	設けず	
ねらい	普段交流する機会の少ない市内の障がい者同士が、美術、工芸などの作品の展示、鑑賞を通じて交流することにより、市民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。						
協力機関 及び団体	共催 春日部市(障がい者支援課) 協力 県立久喜図書館 今仙技術研究所		特色 位置づけ	障害者週間期間 中の開催	SDGs の目 標No	4.10.11	
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等				
実施までの経過	9月13日 担当者打合せ 10月1日 広報かすかべ10月号(作品募集) 公民館だより10月号(作品募集) 10月6日 作品募集受付開始 11月1日 広報かすかべ11月号(開催案内) 11月6日 ポスター配布 11月6日 作品応募締切 11月19日 参加者打ち合わせ会 12月1日 作品搬入 12月8日 作品搬出		PR方法	作品公募 公民館だより10月号 広報かすかべ10月号 展示会開催 ポスター・チラシ・ツイ ッター、安心安全メール			
			受付方法	出品応募 10月6日(火)から11月6日 (金)までに各公民館、障がい者支援 課で受付。 展示会見学 直接中央公民館へ			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
12月1日(火)	9:00～12:00	作品搬入	展示				
12月1日(火)	13:00～17:00	一般公開		35	65	100	
12月2日(水)	9:00～17:00	一般公開		35	65	100	
12月3日(木)	9:00～17:00	一般公開		42	69	111	
12月4日(金)	9:00～17:00	一般公開		50	57	107	
12月5日(土)	9:00～17:00	一般公開		55	92	147	
12月6日(日)	9:00～16:00	一般公開		42	77	119	
12月6日(日)	16:00～17:00	作品搬出					
12月8日(火)	9:00～12:00	作品搬出					
全7日間	50時間00分			259	425	684	
企画運営上 の工夫	・昨年に引き続き、今回も「共に生きようフェスティバル」の展示の部として開催した。 ・「募集要項」を定め、一般公募するほか、障がい者支援課を通じて市内の障害者施設、団体に出品依頼をした。 ・希望する団体には会場内で手作り品の販売も可能とした。 ・障がい者でも弾くことが可能な「ヘルマン・ハープ」の演奏を4日間行い体験も行った。 ・密集・密接を避けるなど、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮した。 ・パラリンピック開催が近いことから、スポーツ用義足を借り受け、展示した。 ・県立図書館より、様々な障害を持った人に対応する資料を借り受け、展示した。						
成果 参加者の 声など	・皆さんとてもよくできており、これからも頑張って作品つくってください。 ・コンサートがすがすがしい気持ちになりました。作品も素敵で心が現れました。 ・たくさんの施設で、いろいろな取り組みをされていることを初めて知りました。皆さんの力作ぞろいで感激しました。これからも頑張ってください。 ・とても丁寧で心のこもっている作品が揃っていて、凄いいいと思いました。私も精進しようと思えました。このような催しをして頂いて、ありがとうございました。 ・毎年来させていただいています。心あたたまる作品でとてもいいやされました。						
課題と展望	・団体及び個人出展者数のスペースを確認して割り振っているが展示内容と申請スペースの差がありすぎる団体があったため、今後は各団体の実際に展示する物のスペースをあらかじめ確認する必要がある。 ・手作り品の販売について、施設職員がいる時間以外に購入できないため、販売時間の拡充を当該施設と調整する必要がある。						

中央公民館 8

事業名 テーマ	中央公民館利用者協議会 陶芸窯利用者のつどい	対象	公民館利用者及び 利用予定者	定員	定めず			
ねらい	利用者同士の交流の場とし、公民館とともに公民館のより良い運営を模索するものとする。							
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4.11			
会場		教材 資料等	公民館利用のてびき 利用者会議資料 公民館へのご意見・ご要望 春日部市公民館利用団体票					
実施までの経過	12月1日 公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布 館内ポスター掲示	PR方法	公民館だより12月号掲載 館内にポスターを掲示 窓口でチラシを配布					
		受付方法	直接会場へ(自由来館)					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月23日(土) (延期)	2時間	新型コロナウイルス感染 防止緊急事態宣言中と なったため、延期、及び 中止とした	協議			0		
3月6日(土) (中止)			協議			0		
1回				0	0	0		
企画運営上 の工夫								
成果 参加者の 声など								
課題と展望								

事業名 テーマ	令和2年度第21回 春日部市16公民館合同フェスティバル		対 象	一般	定員	定めず	
ね ら い	公民館利用者の学習成果発表の場を提供するとともに、市民主体の生涯学習を一層推進し、また地域文化の向上を目指して開催する。市内公民館利用者が中央公民館に一堂に会して、活動成果の発表、活動紹介、学習機会提供の場とするとともに、市民相互の交流の機会を設ける。						
協力機関 及び団体	劇団かざぐるま・PAサークルプラグド		特 色 位置づけ	実行委員会形式 市内16公民館に よる共催 公民館職員会議 によるプロジェ クト企画	SDGsの 目標No	4. 11	
会 場	春日部市中央公民館		教 材 資料等	各プログラムにより異なる			
実施ま での 経 過	6月～2月	職員会議プロジェクトに よる検討	P R 方法 (予定)	公民館だより10・2月号 ポスター 広報かすかべ11・2月号			
	7月22日(水)	実行委員会に向けた 打ち合わせ会					
	8月29日(土)	第1回実行委員会	受付方法	直接来館 (公民館体験プログラム等、一 部のプログラムは事前申し込み あり)			
	10月1日(木)	公民館だより10月号					
	11月5日(木)	参加申込受付					
	11月17日(火)	参加申込書配布					
	～12月6日						
	12月19日(土)	第2回実行委員会・各部 門調整会議					
	2月1日(月)	公民館だより2月号にて 中止のお知らせ					
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			合計	合計		
2月27日(土)	10:00~16:00	4日間共通 ・ ステージ部門 ・ 展示部門 ・ 体験部門 ・ 模擬店部門	発表 発表 体験 頒布	新型コロナウイルスの感染拡大 防止のため全日 程(4日間)中止		劇団かざぐるま PAサークルプラグド 洋子蕎麦打ち倶楽部 気功太極クラブ 他	
2月28日(日)	10:00~16:00						
3月6日(土)	10:00~16:00						
3月7日(日)	10:00~16:00						
1回	24時間			0	0	0	
企画運営 上の工夫	・ 職員会議プロジェクト企画担当者による開催の可否、新型コロナウイルス対策、プログラムの検討を行う。 ・ 今年度も昨年度に続き実行委員会形式とする。 ・ 各団体から協力員の選定をお願いした。 ・ 例年とは異なり、新型コロナウイルス対策を徹底する。入場者の把握や、密にならないよう十分に工夫する。						
成果 参加者 の声など	様々な方と打ち合わせ等準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により事業自体が中止となってしまった。 そのため、成果・効果については検証できない。						
課題と展望	昨年度に続き実行委員会形式で開催を予定していたが、新型コロナウイルスによって2年連続で中止となっており、検証ができていない。実行委員会形式を続けるかどうかも含めてさらなる検討が必要。						

事業名 テーマ	企画展示会 カスリーン台風水害写真展		対 象	一般	定員	定めず	
ね ら い	東日本大震災の日に合わせ、春日部市での災害対策の意識を醸成する。						
協力機関 及び団体	協力 国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所 埼玉県防災学習センターそな一え 春日部市郷土資料館		特 色 位置づけ		SDGsの目標 No	4. 11. 13	
会 場	中央公民館 ギャラリー		教 材 資 料 等	カスリーン台風被害状況写真パネル（国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所所有） 2017・2018水害写真パネル(埼玉県防災学習センターそな一え所有) 春日部市におけるカスリーン台風被害写真パネル(自作*資料提供：春日部市郷土資料館)			
実施までの 予 定	12月 各団体等と打ち合わせ 1月～ 自作展示物作成 3月2日～6日 写真搬入 3月7日 展示 3月9日(火) 写真展実施 ～ 14日(日) 3月16日(火) 搬出・返却 ～		P R 方法	各地区公民館だより2月号 広報かすかべ3月号 ポスター(公共施設等)			
			受付方法	当日会場受付			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
3月9日(火)	13:00～17:00	水害写真展	展示 鑑賞				新型コロナウイルス感染防止 緊急事態宣言中であったため、次年度に延期とした
3月10日(水)	9:00～17:00						
3月11日(木)	9:00～17:00						
3月12日(金)	9:00～17:00						
3月13日(土)	9:00～17:00						
3月14日(日)	9:00～16:00						
	10:00～12:00	我が家の浸水診断	実習				春日部市防災対策課
	13:00～16:00	HUG訓練	実習				山本夏聖氏
1回（6日間）	33時間						
企画運営 上の工夫	ギャラリー施設を使った公民館主催企画展 時節に合わせて市民の関心の高い題材とする。 写真展示会と、体験学習を同時開催して防災意識を高める。 実際の避難所運営の模擬訓練（HUG訓練）もプログラムに取り入れる。						
成 果 参加者の 声 など							
課題と展望	できるだけ早いうちに再企画する。						

事業名 テーマ	さくらまつり	対象	一般	定員	定めず		
ねらい	八木崎公園の桜が咲く時期に、近隣町会と公民館利用サークルの協力のもと、お花見を開催し、利用者同士と地域住民との親睦を深めるとともに、つどいの場としての公民館の役割を再認識してもらうことを目的とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4.11		
会場		教材 資料等					
実施までの経過	準備期間中が新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言中であったため、特段、出演者交渉等に至らず中止とした。	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女		合計
3月28日(日)		中止	体験 模擬店 鑑賞				
1回	0時間00分			合計	合計	合計	
				0	0	0	
企画運営上の工夫							
成果 参加者の声など							
課題と展望							

事業名 テーマ	企画展示会／科学館巡回展 「日本の宇宙科学の歴史」		対象	一般	定員	定めず	
ねらい	夏休み期間中を利用して、主に青少年に科学への興味、関心を持ってもらうための企画展示会。今年度は、日本の宇宙科学技術の躍進を支えた関係者の情熱とひたむきな努力や、今現在も続けられている宇宙へのあくなき挑戦について紹介する。						
協力機関 及び団体	協力:全国科学館連携協議会		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4.11	
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等	パネル提供:宇宙航空研究開発機構(JAXA)			
実施までの経過	7月8日(水) パネル受取 7月9日(木) 借用申請書の送付 7月28日(火) 搬入・展示準備 8月2日(日) 展示終了 8月2日(日) 搬出		PR方法	各地区公民館だより6月号 広報かすかべ7月号 ポスター			
			受付方法	窓口で入場票記入			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職 名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
7月28日(火)	13:00～17:00	一般公開開始	展示	7	2	9	
7月29日(水)	9:00～17:00	一般公開		6	5	11	
7月30日(木)	9:00～17:00	一般公開		9	3	12	
7月31日(金)	9:00～17:00	一般公開		11	12	23	
8月1日(土)	9:00～17:00	一般公開		8	7	15	
8月2日(日)	9:00～16:00	一般公開 搬出		23	11	34	
全6日間	43時間00分			64	40	104	
企画運営上の工夫	・ギャラリーを使った公民館主催の企画展である。全国科学館連携協議会より提供された展示物の中から市民の関心があるようなものを借入し、展示する。展示期間中に小惑星探査機「はやぶさ」のDVD映像の解説を取り入れるまた、初期の科学衛星模型セットを展示する事により、いろいろな視点で宇宙科学の歴史にふれることで、関心と知識を深める。また、同日に星空観察会を実施する。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、入場時に名前と連絡先を記入してもらい。手指の消毒をお願いし、会場内では見学者が密にならないよう、注意した。						
参加者の声など	・子どもも楽しめました。毎月実施してほしいです。 ・ロマンがあり、人類の起源、平和な宇宙、地球環境など思い浮かびました。 ・ブラックホールの模型にとっても興味を持ちました。						
課題と展望	・期間中、1日だけ星空観察会を同時に開催した。参加者は天体事象をより幅広く学べる事ができた。 ・来館者に質問されたが宇宙科学に関する専門知識がないため、連携協議会の巡回展に関して歴史に強いボランティアスタッフも一緒に探せるとよい。 ・意見や来場者からのアンケート結果を参考に今後の企画展も連携協議会の巡回展を活用していきたい。						

事業名 テーマ	キッズフェスティバル		対 象	小学生まで		定 員	100名	
ね ら い	ものづくりの場を提供するとともに、幅広い世代の交流を行い、情緒と感性を養う。また、8月より実施している「年少リーダー研修会」の事後研修としても位置付け、年少リーダーメンバーを実行委員に加え、地域で活動する体験の場、一つの事業を皆で作り上げる場とする。							
協力機関 及び団体	協力：春日部市子ども会育成連絡協議会 中央公民館利用サークル		特 色 位置づけ	冬休み開催、年少リーダー研修会		SDGsの 目標No	4. 11	
会 場	中央公民館 講堂		教 材 資 料 等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施までの経過	12月 1日(火)	広報かすかべ12月号 公民館だより12月	P R 方法	広報かすかべ12月号 公民館だより12月号				
	12月 6日(日) 12月27日(日) 1月 8日(金)	第1回準備 第2回準備 安心安全メール配信		受付方法 電話または直接申し込み				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名	
回 数	総時間数			男	女	合計	氏 名	
1月10日(日)	13:00~16:00	輪投げ 的当てゲーム 囲碁教室 獅子舞演舞 アンサンブル演奏 HUG体験 面踊り ブンブンゴマ けん玉教室	参加 参加 体験 見学 見学 体験 見学 参加 体験				年少リーダーの 子どもたち 囲碁クラブ 小 嶋 宜彦氏 埼玉ルミナス吹奏 楽団 山本 夏聖氏 天佑会 春日部市子ども会 育成連絡協議会 公民館職員	
1回	3時間			0	0	0		
企画運営上の工夫	・年少リーダー研修会に参加している子どもたちの事後研修の場として、年少リーダーメンバーをスタッフにし、ブースを担当する。 ・参加する子どもたちが楽しめるよう、様々なブースを設ける。 ・新型コロナウイルス対策のための来場者把握、検温の実施。							
成果参加者の声など	様々な方と打ち合わせ等、準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により事業自体が中止となってしまった。 そのため、成果・効果については検証できない。							
課題と展望	今年度はたくさんの方に出展依頼をしたが、新型コロナウイルスを理由にほぼ断られてしまった。来年度も同様の状況が続くのであれば、小規模でも開催できるような「体験教室」等を企画したほうがいいのかもかもしれない。							

事業名 テーマ	教養講座 「しめ縄を作ろう！」		対象	一般		定員	20	
ねらい	昨年、「かすかべカフェ」で開催して好評だった講座を今年は教養講座として企画。昨年度同様、文化財保護課に協力を仰ぐ。普段公民館に足を運ばない人も興味を持てる内容を企画することで、公民館自体に興味、関心を持ってもらう。							
協力機関 及び団体	郷土資料館職員		特色 位置づけ	時局に合わせた 講座		SDGs の目 標No	4.11	
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施までの 経過	9月 10月1日(土) 11月19日 (木)	講師折衝・打ち合わせ 公民館だより10月号 申込み開始	PR方法	公民館だより10月号				
			受付方法	中央公民館へ直接もしくは電話で。				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
			合計	合計	合計			
12月17日(木)	13:30～15:30	「しめ縄を作ろう！」	演習	5	2	7	郷土資料館 館長 實松 幸男氏	
								
1回	2時間			5	2	7		
企画運営 上の工夫	・新型コロナウイルスのため人数を絞っての開催 ・平成31年度に実施したかすかべカフェで好評だったため今年度は教養講座として開催 ・検温、手消毒アルコール等による感染防止策の徹底							
成果 参加者の 声など	・楽しかった。 ・初めてなのでありがたかったです。来年もうかがいます。よろしくお願いします。 ・また機会があったら参加したいです。 ・公民館の催しものに初めて参加したが、気軽にできてよかったです。中年向けのものがあまりなかったようだが、これを機にまた参加したいです。 ・難しかったですがとても楽しかったです。また機会がありましたら色々に参加してみたいです。ありがとうございました。 ・充実した時間でした。ありがとう。よい年にしましょう。 ・とても楽しかったです。ありがとうございました。来年はいい年になりそうです。							
課題と展望	・しめ縄を作るのに個人個人で進みに差が出てしまい、時間の調整が難しかった。 ・作り方が少し複雑なため、一度の説明でわからない人が多かった。少人数だったので、一人ひとり丁寧に作り方を教えることで全員なんとか完成させることができたが、大人数での開催は少し難しそうだった。							

事業名 テーマ	サークル体験月間	対 象	一般	定 員	特になし		
ね ら い	中央公民館のサークル活動の促進と利用の活発化を目指す。						
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル	特 色 位置づけ	公民館利用 サークルと の連携	SDGsの 目標No	4. 11		
会 場	中央公民館 粕壁南公民館	教 材 資 料 等	教材はサークルで準備				
実施までの 予 定	4月1日（水） 公民館だより 4月号 4月2日（火） 周知・サークル申し込み開始 5月17日（日）サークル申し込み終了 6月1日（月） 公民館だより 6月号	P R 方法	公民館だより 4・6月号 ポスター・チラシ				
		受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月9日（火） 7月下旬		各サークル活動の体験 （～7月12日（日）まで） 活動報告会	体験				各サークルの皆さん
新型コロナウイルス感染拡大防止緊急事態 宣言中のため、中止							
企画運営 上の工夫							
成 果 参加者の 声など							
課題と展望							

事業テーマ	第8回春日部市公民館研究大会		対象	一般 埼玉葛地区公民館職員		定員	なし	
ねらい	公民館全体のレベルアップを期して、社会教育や公民館の利用、運営について、全市の公民館利用者が一堂に会し、情報交換をするとともに、住民自治と公民館のあるべき姿を探る。							
協力機関及び団体	埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課 埼玉葛地区公民館連絡協議会		特色 位置づけ	埼玉葛地区公民館連絡協議会 職員研修会		SDGs の目標No	4.11	
会場	中央公民館 1階講堂		教材 資料等	教材は、スタッフで準備				
実施までの予定	1月14日(木) 職員会議プロジェクト会議 2月10日(水) 職員会議プロジェクト会議 2月26日(金) 職員会議プロジェクト会議		PR方法	ポスター・チラシ				
			受付方法	メールもしくは直接窓口にて事前申込				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
3月14日(日)	10:00～12:00	第8回 春日部市公民館研究大会	事例 発表 講評				武里地区公民館 山下 剛史主任 埼玉県教育局 内河 大和氏	
		新型コロナウイルス感染拡大防止緊急事態 宣言中のため、中止						
1回	2時間							
企画運営上の工夫	・2月5日に開催予定だった、埼玉葛地区公民館連絡協議会職員研修会を延期し、本大会と同時開催とする。 ・来場者、参加者との討論では「コロナ禍」におけるサークル活動や公民館活動の意義について討論する。 ・オンラインで配信することを研究し、Zoomを活用して事例発表や協議を行う。Zoomを活用した主催事業は初めてとなる。							
成果参加者の声など	3月5日、2月7日から3月7日までの間の緊急事態宣言が3月21日まで延長と発表され、すべての公民館主催事業が中止となる中、やむなく中止とした。							
課題と展望								